



組込みソフトのバグを解析する

長時間
ログ収集

実行経路
見える化

パフォー
マンス
計測

OSやCPUに依存しない汎用的なデバッグツール

「DT+ (ディーティープラス)」は、組込みソフトウェアのリアルな実行経路を見える化できるデバッグツールです。経路情報を取得するためのテストポイントを、ソースコードに自動で挿入して、いつも通り実行するだけ。すぐにプログラムのリアルな動きを見える化できます。実行経路情報を長時間ログとして取得するだけで、関数の遷移、実行時間や変数値の変化などを一挙に確認でき、バグ修正の時間を大幅に短縮することが可能です。

使い方はかんたん3ステップ

1

テストポイントを入
れて

2

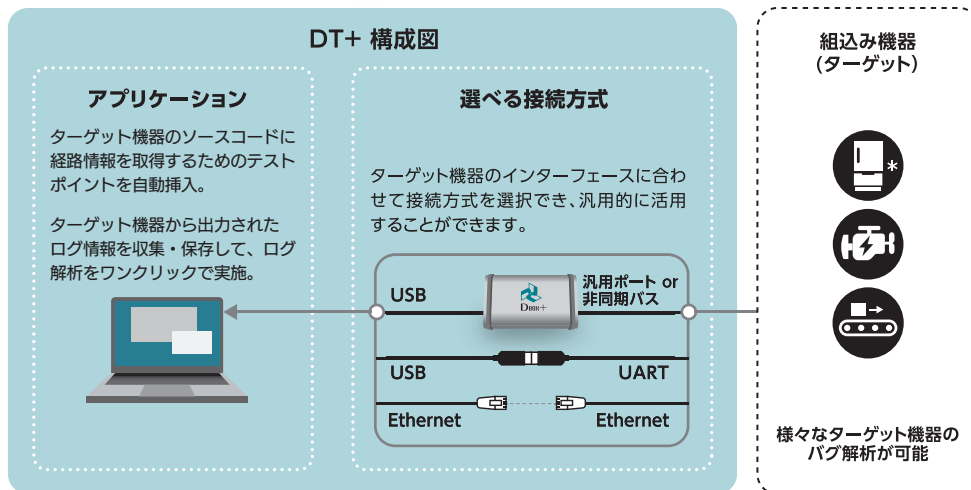
いつも通りコンパイル

ふだんお使いの統合開発環境などを使用し、実行ファイルを作成

3

プログラムを実行してトレース

テストポイントを通過するたびにトレースデータを出力



「DT+」でできること

最大 30 日分のソフトウェア挙動をバックトレース

関数遷移や割り込みの発生を可視化。通信ラインのデータも収集可能。

パフォーマンス測定

正確な実行時間を計測。処理速度のボトルネックを発見。

不具合の潜在リスクが高い箇所を自動で検出

変更箇所や複雑度の高い箇所に絞ってカバレッジや挙動の把握が可能。

ハードウェア波形の解析

ハードウェアの波形とソフトウェアの処理を同期して確認。

映像との同期

実機の動作やテスト手順を録画。プログラムの動きと同期して確認。

複数 CPU の動作解析

ブレイクポイントで止められない複数 CPU の動作も可視化。